

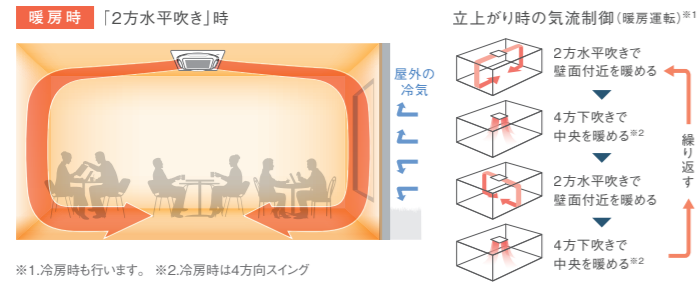
隅々まで快適さを届ける快適気流制御を搭載



天井埋込カセット形ファンコイル S-ラウンドフロータイプ

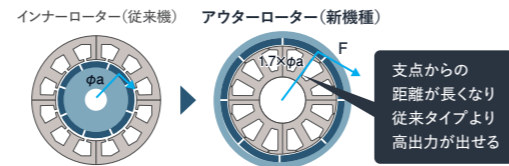
温度ムラを抑えた快適気流制御

運転立ち上がり時、循環する気流
「アクティブ・サーキュレーション」で温度ムラを抑制。



運転効率に優れたDCモーター搭載

全領域でACモーターより優れた回転効率を発揮し、低速域ほど消費電力を節約するDCモーターをさらに進化させたアウトロータータイプのDCモーターを採用しました。



低GWP冷媒R32の特性を活かし 業界トップクラスの低温暖化影響を実現

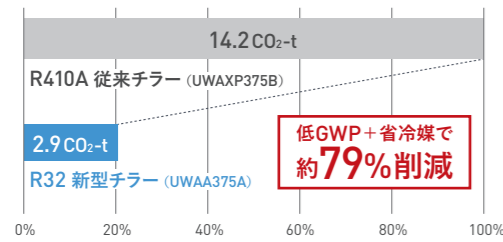
低GWP空冷チリングユニット R32

新冷媒+省冷媒で、馬力当たりのGWP総量は業界トップクラス

従来冷媒R410Aと比べ、地球温暖化係数が約1/3の低GWP冷媒R32を採用するとともに、新型熱交換器などによって冷媒そのものの使用量も抑え、地球温暖化影響を大幅に抑えました。

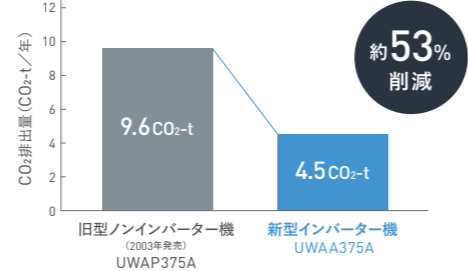


冷媒による地球温暖化への影響の比較(GWP換算 = GWP × 冷媒量)



●15馬力機種比較の場合。削減率は機種によって異なります。

年間CO₂排出量(15馬力、冷却専用機での比較)



[試算条件]
UWAA375AとUWAP375Aの比較。
運転時間:12カ月 25日/月 8~18時
10時間/日。出口温度:20℃。※試算は、一定の条件に基づいて相対比較として表したものです。従来定速機は消費電力に10%の経年劣化を考慮しています。※CO₂排出係数は、経済産業省、環境省公表(令和5年1月)「令和3年度の電気事業者別実排出係数」の数値で計算しています。

コンパクト エアハンドリングユニット



低GWP 水冷チリングユニット R513A



各製品の詳細は「チリングユニット総合カタログ」「ファンコイルユニット総合カタログ」「エアハンドリングユニット総合カタログ」をご覧ください。

ダイキン工業株式会社 空調営業本部

本社 〒530-0001 大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワース・サウス
東京支社 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー

「ダイキンエアコン」ホームページアドレス
<https://www.ac.daikin.co.jp/products>

・本カタログに掲載の内容は2024年1月現在のものです。尚、改良などのため内容を予告なしに変更する場合があります。予めご了承ください。
・本カタログに掲載しております商品の価格には消費税は含まれておりませんので、ご購入の際、消費税額をお支払いください。
・印刷条件により製品色が実際と多少異なる場合があります。

DAIKIN
APPLIED
2024
LINEUP



環境先進熱源。

再生可能エネルギーの一つ

「空気中の熱」を利用するヒートポンプ技術を、
セントラル空調・産業用プロセス熱源の分野へ
展開してきたダイキンのアプライド。

我々は2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、
CO₂排出量のさらなる削減が求められる工場や
大規模ビルの省エネ化・脱燃焼をさらに推進します。

大きなエネルギーだからこそ、
環境への貢献度も大きいアプライドの省エネ化が、
カーボンニュートラル実現の大きな一歩になると信じて。

セントラル空調・産業用プロセス熱源

DAIKIN APPLIED



HEXAGONGX
MODULE CHILLER

NEW



精製 加温ヒートポンプ
JIZAI HEAT

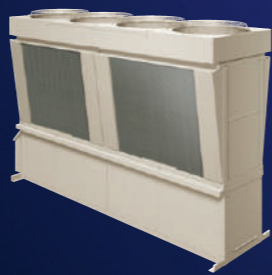
NEW

HEXAGON GX

MODULE CHILLER

NEW

〔冷却専用タイプ〕
2024年3月 受注開始予定
〔ヒートポンプタイプ〕
2024年秋 受注開始予定



GXとは、Green Transformation(グリーントランスフォーメーション)の略称で、温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電、風力発電などのクリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体を変革しようとする取り組みを指します。

HEXAGON GX
紹介動画はこちら▶

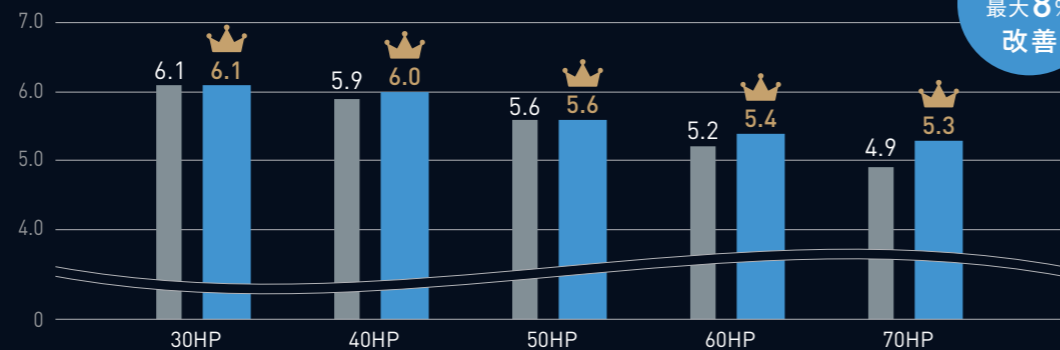


トップクラス^{※1}の省エネ性と 環境への配慮を追求。

※1.空冷ヒートポンプ式モジュールチラーにおいて。散水仕様を除く。2024年1月現在。

マイクロチャネル熱交換器と新型圧縮機の採用で 全馬力業界トップクラスの冷却IPLVを達成

能力別冷却IPLV
(冷却専用タイプ)

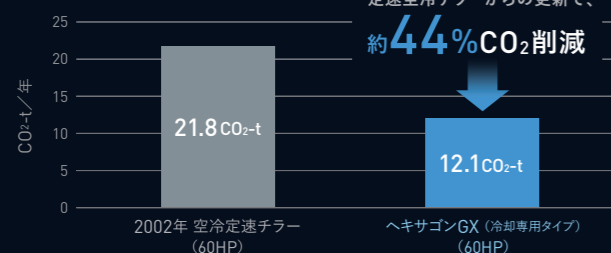


冷却IPLV
最大^{※2}
8%
改善

※2.空冷モジュールチラー 30~70馬力 ヘキサゴンフォース32 (FB型)とヘキサゴンGX 冷却専用タイプとの比較。散水仕様を除く。2024年1月現在。

定速機(ノンインバーター機)からの更新で CO₂排出量を大幅削減

年間CO₂排出量 (冷却専用タイプ/冷房のみ)

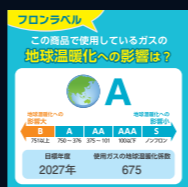
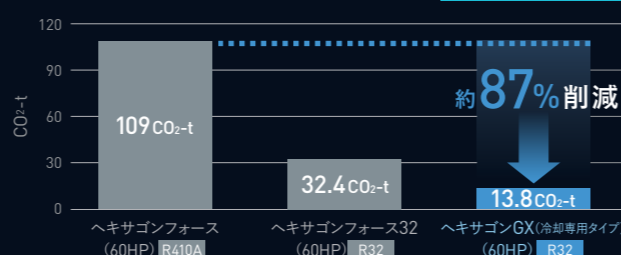


定速空冷チラーからの更新で、
約44%CO₂削減

【試算条件】 ●システム構成:既設熱源/60馬力 空冷定速チラー(UWAP1800G5/2002年発売)×1台
新設熱源/60馬力 ヘキサゴンGX 冷却専用タイプ(UWXA180G)×1台 ●運転時間:冷房5~10月、稼働
日数:週6日、運転時間9~21時 ●試算基準:期間効率法で算出(自社基準) ※試算は、一定の条件に基づ
いて相対比較として表したものです。従来空冷定速チラーは消費電力に10%の経年劣化を考慮しています。

低GWP冷媒R32採用+ 省冷媒化で地球温暖化への 影響を削減

冷媒による地球温暖化への影響
(GWP換算 = GWP × 冷媒量)



●空冷モジュールチラー 60馬力 ヘキサゴンフォース (R410A)、ヘキサゴンフォース32 (R32)、
ヘキサゴンGX 冷却専用タイプ (R32)との比較。削減率は機種によって異なります。

オールアルミ製のマイクロチャネル熱交換器を採用し 冷媒充填量を大幅削減

冷却専用タイプ : 冷却専用マイクロチャネル熱交換器
ヒートポンプタイプ : 冷暖共用マイクロチャネル熱交換器

オールアルミ製のマイクロチャネル熱交換器を搭載。冷却専用タイプとヒートポンプタイプに最適な熱交換器を使い分けました。扁平型で細径化した冷媒流路を多数設け、冷媒と空気の熱を効率的に変換。熱交換効率を大幅に向上し、冷媒充填量を削減します。



冷媒充填量
約^{※3}
60%
削減

※3.空冷モジュールチラー 60馬力 ヘキサゴンフォース (R410A)とヘキサゴンGX 冷却専用タイプ (R32)との比較。 ※4.60馬力、70馬力クラスの機種において。 ※5.空冷モジュールチラー ヘキサゴンフォース32 (FB型)とヘキサゴンGXとの年間待機電力比較。 ※6.空冷モジュールチラー ヘキサゴンフォース32 (FB型)とヘキサゴンGXとの比較。

低負荷時の効率をアップし 消費電力を削減する新型圧縮機搭載

高効率集中巻モーターを搭載した新型圧縮機を採用。圧縮機内部での冷媒漏れを低減することで低負荷時の効率化を実現しました。

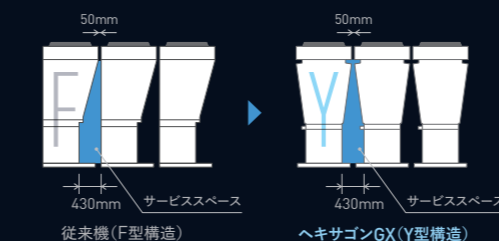
クランクケースヒータの制御による待機電力削減

クランクケースヒータに、ON/OFF制御を搭載。油切れに配慮しながら通電時間を抑制することで、待機時の消費電力を抑制します。

待機電力
約^{※5}
15%
削減

F型構造からY型構造への変更

左右対称の構造にすることで、熱交換器性能を最適化。モジュール設置時のサービス性も改善しました。



サービス
スペース^{※6}
約11%UP

定期的な診断で、効率的なシステム稼働を継続的にサポート

モジュールチラーシステム向け アプライドシステム診断サービス 有償契約

熱源機やコントローラー^{※8}に蓄積されたデータをもとに、稼働状況を見える化。使用・負荷・環境状況を診断し、冷水設備の劣化具合のお知らせやお客様のシステムに合わせた効率的な使い方の提案など、末長くお使いいただくためのシステム稼働をサポートします。

こんなご要望の
お客様にオススメ

- 稼働状況を手軽に入手したい (産業用熱源ユーザー様)
- 効率的な運転を行いたい (中小規模の空調ユーザー様)

※7.システム設定条件や中間期の低負荷運転などを理由に機器の稼働が判定に必要な条件を満たさず、漏れ検知判定ができない場合があります。その場合は、従来通り現場での目視点検が必要となります。(事前に通知いたします。)
3ヶ月間、圧縮機停止が続いた機器は漏れ検知判定の対象外となります。
※8.モジュールリモコンまたは高機能モジュールコントローラーを指します。



高効率

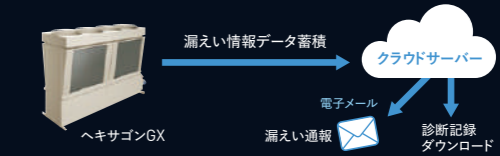
- 1 漏れ損失を低減する高効率スラスト軸受
- 2 8極12スロット 高効率集中巻きモーター^{※4}

高信頼性

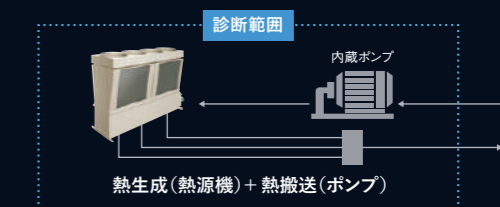
- 3 軸芯を改善する低歪構造
- 4 超仕上げ加工

冷媒漏れを自動で検知^{※7}

充填冷媒量をセンサーで毎日監視・記録する冷媒漏れ検知機能を搭載。万一の漏れも検知し、電子メールで通報。素早い修理対応が可能となります。



※本機能のご利用には、DK-CONNECT、アシネットサービス、エアネットサービス(有償)いずれかの契約が必要です。詳しくはお問い合わせください。



サービス対象は以下のすべてに該当すること

熱源製品	ヘキサゴンフォース32 (FA型)以降、内蔵ポンプ搭載型
冷水送水方式	単式ポンプ方式(二次ポンプ方式は対象外)
冷水配管	ヘキサゴン専用(ボイラーや吸収式などと合流しないこと)

本機は開発中のため、記載の内容は予告なしに変更する場合があります。予めご了承ください。



循環加温ヒートポンプ JIZAI HEAT

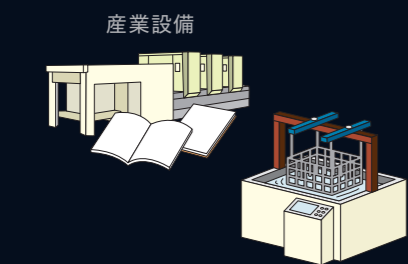
NEW



空気の熱で最大80°C出湯。
カーボンニュートラルの実現に貢献します。

高温出湯ニーズの多い 産業プロセス用途を幅広くカバー

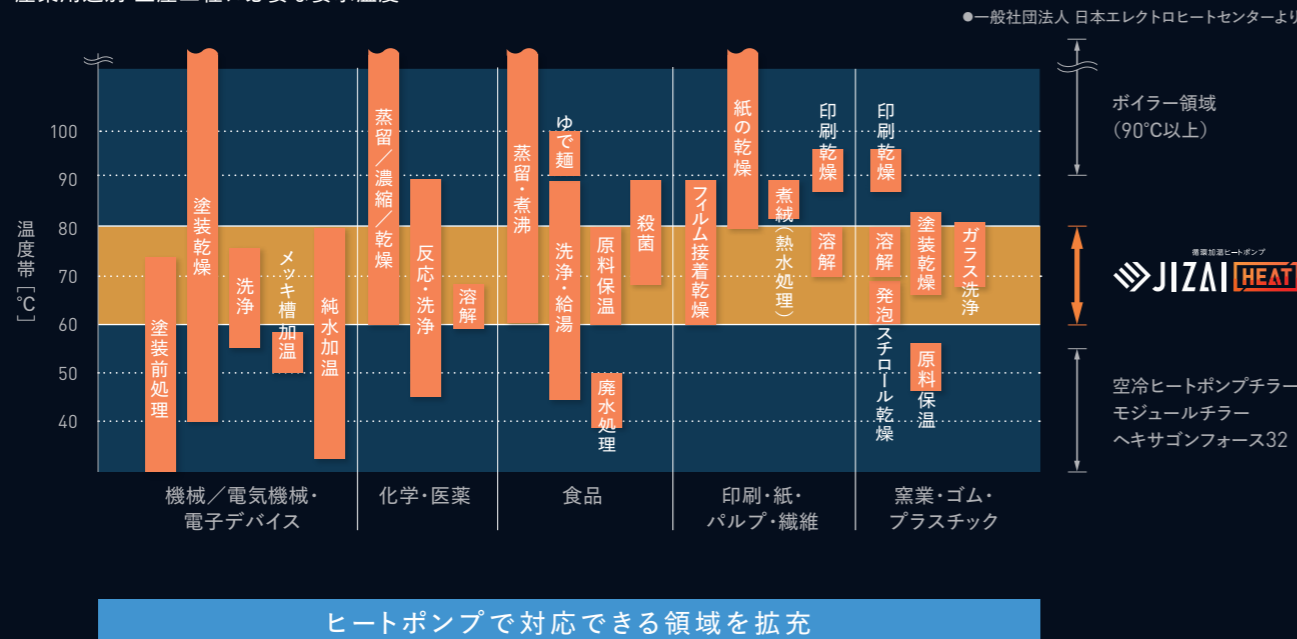
循環加温ヒートポンプ「JIZAI HEAT」は、空気中の熱エネルギーを利用して循環する水を加熱する、電気式の熱源機です。
二段階の冷媒サイクルで最高80°Cの出湯を実現しました。
産業用途のさまざまな生産プロセスで利用でき、CO₂排出量やランニングコストの大幅低減に貢献します。



最高80°C
(出口温度範囲60~80°C)



産業用途別 生産工程に必要な要求温度

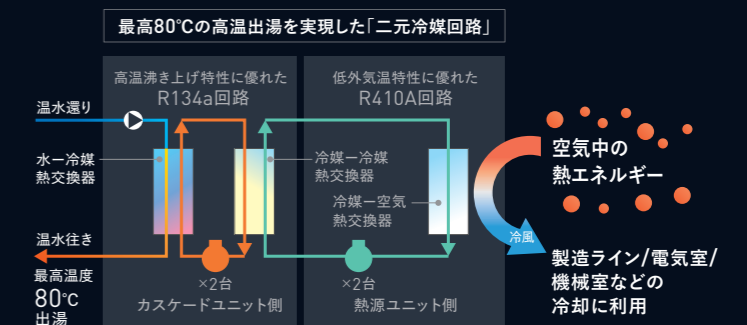


高効率なヒートポンプで 空気中の熱エネルギーを取り込んで高温出湯

空気中の熱エネルギーを利用して、少量の電気で大きな熱を作り出す、省エネルギーなシステムで、カーボンニュートラルに貢献できます。二段階の冷媒サイクルで温度を高める「二元冷媒システム」の採用で安定した高温出湯を実現。循環する水の加温が可能になりました。

省管理で運用できます

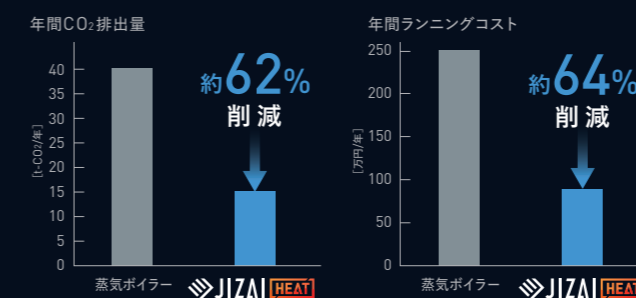
- ◎ フロン排出抑制法に基づく定期点検が不要(簡易点検は必要です)。
- ◎ 高圧ガス保安法に基づく届出手続きが不要。



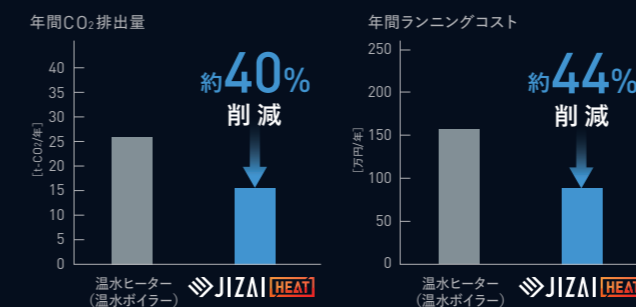
蒸気ボイラー・温水ヒーター(温水ボイラー)からの電化で CO₂排出量、ランニングコストを大幅に削減

試算値

蒸気ボイラー



温水ヒーター(温水ボイラー)



[試算条件] ● 温水入口温度60°C、出口温度65°C、年間を通じて30kWの熱源を蒸気ボイラーもしくは温水ヒーター(温水ボイラー)から開発機に代替したランニングコスト削減効果を算出 ● 年間運転時間 3,840時間(16時間/日、20日/月) ● 開発機は工場屋内設置するものとし、年間を通じて周囲温度25°CDBとして計算 ● 配管ロス、排気・ドレンロスを加味し、蒸気ボイラーのシステム効率は50%とし、消費電力は考慮せず ● 温水ヒーター(温水ボイラー)のシステム効率は80%とし、消費電力は考慮せず ● 電力料金は東京電力 高圧電力A契約の単価(再生可能エネルギー発電促進賦課金(2023年度)、燃料費調整(2023/6)含む。激変緩和除く)、ガス料金は東京ガス 蒸気ボイラーパッケージ契約の単価(原料費調整額(2023/6)含む。激変緩和除く)で算出しています ● CO₂排出係数は、経済産業省、環境省公表(令和5年1月)「令和3年度の電気事業者別実排出係数」、経済産業省、環境省令3号「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の計算に関する省令」で計算しています ● 実際の運転状態によって効果は変動します

標準仕様(システム)

方式	循環式	
定格加熱能力 ^{※1}	30(夏期・中間期)、28(冬期) kW	
定格消費電力 ^{※1,※2}	8.81(夏期)、10.3(中間期)、10.8(冬期) kW	
出水温度	60~80 °C	
水量使用範囲	最大水量	200 L/min
	最小水量	46 L/min
	定格水量	86 L/min

標準仕様(機器単体)

総称名	UWQY300A(L)	
製品名	熱源ユニット	カスケードユニット
機種名	UWQUP300A	UWQH300A(L)
定格電源	3相200V 50Hz/60Hz	
製品外形寸法	高さ1,525×幅1,240×奥行765 mm	高さ1,525×幅893×奥行762 mm
製品質量(運転質量)	281(281) kg	ポンプ内蔵機: 304(311) kg ポンプレス機: 267(274) kg
冷媒	冷媒名	R410A
	充填量	7.8 kg
法定冷凍トン ^{※3}	5.95(届出不要)	

※1.JRA4060:2018「業務用ヒートポンプ給湯器」の給湯性能温度条件より、夏期貯湯加熱条件 外気温度25°CDB/21°CWB、流量86L/min、出口水温65°C、入口水温60°C(ΔT=5°C)、中間期貯湯加熱条件 外気温度16°CDB/12°CWB、流量86L/min、出口水温65°C、入口水温60°C(ΔT=5°C)、冬期貯湯加熱条件 外気温度7°CDB/6°CWB、流量80L/min、出口水温65°C、入口水温60°C(ΔT=5°C) ※2.ポンプの消費電力は含んでいません。 ※3.高圧ガス保安法に基づく届出手続き不要。